

東山花だより

(題字は元同盟委員長 故 北村徳太郎 氏)

2016年



まさかの奇跡のご来光「こども富士登山キャンプ」標高3300m付近にて 写真：小曾戸 恒夫

この写真は「こども富士登山キャンプ」の
コマです。
この時は、夜中に3140mの山小屋を
ち、霧雨舞う暗闇の中、山頂を目指した
が、内心、ご来光はあきらめていました。
ところが、日の出時刻直前になって急に雲が
動き始め、まさに日が昇るその瞬間だけ幕が上
がるように雲が切れて、まさかの、そしていつ
にも増して神々しいご来光に出会うことができました。
この時の驚きと喜びと感動は今も忘れられま
せん。
自然は私たち人間の思い通りになりません。
しかし、思い通りにならないからこそ、思いも
よらない出会いや感動を与えてくれるのです。
今、めまぐるしく進化する情報化社会の中
で、何でも自分の予定通りに、思い通りに物事
が進んで当たり前、と思っている人が増えてい
ます。そのため、少しでも思い通りに行かない
とすぐあきらめたり、不機嫌になったり、人の
所為にしたり、ということになってしまいま
す。
自然は私たちに語りかけます。生きること
は思い通りにならないことの連続で、厳しいこ
と、苦しいこともあるけれど、だからこそ生き
る喜びや感動があるのだ、と。

写真 小曾戸 恒夫
文 白鳥 裕之
(ネイチャープログラム主任)



主催プログラムごあんない

●秋のこども チャリンコキャンプ●

ふるさとの巨樹を訪ねる自転車の旅
日程 10月8(土)～10日(月)

2泊3日

対象 小学1年～の男女

※高校生ジュニアリーダーも同時募集します

参加費 18,000円

内容 秋のチャリンコ旅はふるさとの巨樹を訪ねます。自ら動くことのできない大きないきものは、

そのおかれた場所からふるさとを数百年間見つめてきました。そんな偉大な木たちに会いにいきましょう。



●秋のこども自然キャンプ●

またの名を「こども石コロキャンプ」
日程 10月22日(土)～23日(日)

1泊2日

対象 小学1年～6年生の男女

※中高生ジュニアリーダーも同時募集します

参加費 8,000円

内容 なぜかこども達がだ

い好きな「石ころ」。今回は思う存分石さがしをさせてあげます！おもしろい石、不思議な石、変わった石を訪ねてあつちこつちに出かけよう！

ご宿泊・研修・会議・プログラム お申し込み・お問い合わせ

資料のご請求は…

日本YMCA同盟 東山荘
〒412-0024 静岡県御殿場市東山1052
TEL 0550-83-1133
FAX 0550-83-1138
E-mail: tozanso@ymcajapan.org
HP http://www.ymcajapan.org/tozanso/

季節の一品 ～厨房だより～ 冷やしあんかけうどん

●材料 (4人分)

豚こま切れ 120g
筍水煮 40g
椎茸 2枚
玉葱 80g
人参 20g
貝割れ菜 適量
おろし生姜 適量
サラダ油 適量
冷凍うどん 3玉

調味料
だし汁 630cc
醤油 90cc
味酢 90cc

●作り方

- ①筍・人参は短冊に、椎茸・玉葱は厚めにスライスしておく。
- ②鍋に豚肉を入れサラダ油で炒め、貝割れ菜以外の野菜も加えて硬めに炒める。
- ③②にだし汁と味酢、醤油を加えて沸騰したら水溶き片栗粉(分量外)で濃度を付ける。
- ④③より一回り大きな器に③を乗せ、水を流して冷ます。
- ⑤鍋に湯を沸かし、うどんをさっと茹で、冷水で冷ましてザルにあげ、水気を切る。
- ⑥皿に⑤のうどんを盛り、④のあんを掛け、おろし生姜と貝割れ菜を添える。

野菜は好みで何でもOK!!
甘めが好きな方は砂糖を少し加えて。
生姜ではなく、七味でも美味しいです。



from the Secret Garden

ゴロゴロした不安定な石の上や、あちこちに根つこの出ている坂道、足首まで埋まるような火山砂礫の中を歩く。便利で安全な生活が当たり前になった現代では、平坦でない未舗装路は珍しい環境かもしれません。いわゆる「悪路」では、普段意識しないような細かい筋肉を使い、目も頭も使って足運びを考えながら歩きます。こども達は、たとえそれが初めての経験であつたとしても

懸命に手足を繰り出し、体中で歩くことを身に付けていきます。身体を自分で動かせることは、自由になることに繋がっています。アタマとココロとカラダがひとつになつて一人のひとができていきます。



期間限定キャンペーン 2016年11月1日～2017年2月28日

- ・ウィンター学生プラン (1泊2食付10名様～)
小学生 …5,400円
中・高・大学生 …6,480円
- ・ウィンター・ロッジプラン(貸切は15名様～)
大人素泊まり …5,400円

上記の他、ツインルームご宿泊、会議室割引のプラン、お食事のお得なプラン等がございます。詳しくはお問合せください。

新本館建設工事佳境となり世間の喧噪とは若干縁の薄かった東山荘も、連日賑やかです。一方で、毎年子育てにやってくるツバメやキビタキ、移植の大手術を受けた木々達は、のんびりといつも通りに過ごしている様子です。
世の中の動きや自然災害等、不安に押し潰されそうながある時も、のんびりといつも通りになっている存在に気付くと、穏やかな気持ちに戻ります。

プログラム通信

若葉の頃、ふたつのこどもキャンプを開催しました。いきいきと萌える若葉と、こども達の表情や歓声はとてもよく似合っていました。（写真撮影／くろだいいリーダー）

◎春のこどもチャリンコキャンプ◎ 4月29日～5月1日

江戸末期から明治にかけて、静岡県東部にある沢で50年間修行を積みながら、近隣諸国を巡り、心の平和を説き、辻々に経文の名号碑（石碑）を建て、土地の人々の篤い信仰を得ていたと伝わる唯念さんの足跡を辿る旅にでかけました。

ふるさとの歴史を身近に感じることが、自分を知る大切な機会です。

車の走るすぐ横を身ひとつで走る自転車旅は、スタッフやリーダーが引率してはいても、絶対の安全を担保することはできないので、小さな子どもとさえど文字どおり命がけの挑戦です。走り出す前の安全講習では、どの子も真剣なまなざしをしていました。

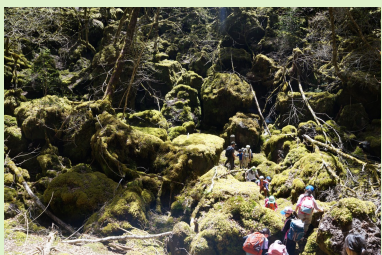


こども達の眼前で起きたアクシデントには肝を冷やしましたが、誰ひとり怪我することもなく無事に走り終えることができたので感謝です。こども達も、何か大きなものに守られていると感じたようです。

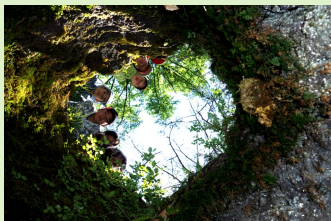
◎春のこども自然キャンプ◎ 5月3日～5日

見渡す限りの緑輝く大草原で、野鳥ののびやかな歌を耳に、野に遊び摘み草を楽しみました。わらびはアク抜きしてお家へのお土産にしましたが、思い出し話しと共に楽しく美味しく召し上がったでしょうか。

ひと昔前は当たり前だった季節の仕事は、こども達の手から遠くなりつつあります。キャンプの中で出会うのは、「自然体験」だけではなく身近な「文化」や「風習」もそのひとつだと感じます。



このキャンプでは、無数の噴火を繰り返してきた富士山の中でも人跡稀な忘れ去られた噴火口群を訪ねる旅にも出かけました。苔むした巨大な溶岩がゴロゴロしている不思議なすり鉢状の噴火口は、元気なこども達も自ずと静まり返る神秘的な場所。人の手では作り出すことのできない自然の造形美や神々しいような空気を、こども達も全身で感じ取ったことでしょう。キャンプのこども達は、実によく遊び、よく食べ、よく眠ります。こども時代に仲間と共にこんな時間を持てることは、育ちゆくこども達にとつての最高の栄養になると考えます。



◎第7回支援者のためのリフレッシュプログラム◎ 5月27日～29日

このプログラムは、日本NPOセンター、武田薬品、JCCNC、日本YMCA同盟、そして心理カウンセラーの第一人者である帝京平成大学名誉教授臨床心理学博士・中谷三保子先生のチームとの協働により構成された、それぞれの強みを発揮できるようなスタイルでプログラムを運営しています。

人は知らず知らずのうちに、様々なストレスや変化にさらされていますが、人それぞれやり方で心身のリフレッシュを図っていると思います。しかし、支援活動という閉鎖的な空間ではそれがままなりません。そのため、心理的な変化や現状に最大の配慮をしつつ、「キャンプ」で新たな場面を実現し、心身をすっきりしてから現場に戻るこ



木立を抜けてのお散歩は、風を感じ、空気の美味しさを思い出すひと時でもありません。時間を忘れそうになるおしゃべりや、コラージュ体験で発見した集中と熱中した自分との新しい出会い。感動の共有といった体験の数々…。新たな仲間との出会いもあり、参加された皆さんは、「ほっとした」「ゆっくりした」「吐き出せた」「自分が大切であると思いだした」等々、本来人間が大切にするべき、当たり前の姿、ありのままの自分に気づくことができました。

非日常空間で仲間と共に心の中の荷卸しをすることで、支援活動に戻るちからが補充されるのかもしれません。



夕陽の風

19

東山荘所長
堀口 廣司

皆様のお支えで東山荘も創立101年目の歳に入りました。6億8千万円という東山荘の売り上げ3年分の費用をかけて全館の環境を良くする第2次整備計画は新本館の建て替えてピークを迎えました。1・2階の構造建設工事が終了しいよいよ内装工事に入り森の中に同化できる建物が10月9日の献堂式に向かつて建ち上がりつつあります。

一昨年5号館の改修が終わり、昨年は3・4号館の改修を終えることが出来ました。A・B・C・Dの浴場も改修が終わりました。6号館のエレベーター工事も予定しています。

また、東山湖側の正面の門扉と壁の改修、裏山の土留め工事にも計画しています。全てを業者の方にお願ひするのではなく職員の手によりご利用者の皆様に喜んでいただくためにコッコツと施設環境の整備を行ってきま

した。



でトーチカのように頑丈な建物が出来つつあります。内装と家具は白と茶色、そして緑色が基調です。東山荘の2000平米の100年の森と調和するように色を統一しました。

先日の夕方、荘内を散策した時に工事中にも拘らずムササビや狸が元氣だよとばかりにお出まし下さいました。移設した白木蓮や河津桜も満開の花をつけて今年も春を告げてくれました。小動物や植栽の自然環境を保全し自然と共生する東山荘となることを整備する目的でありひいては人をも癒す場となると考えます。

昨年の100周年を機に「びっくりポン」の広岡浅子さんが連続テレビドラマに舞い降り、特に地元のテレビや新聞で連日東山荘が紹介されました。募金の中心人物の広岡浅子さんだけでなく創立時の恩人であるフィッシャー、井深梶之介、ヴォーリズ、吉野作造、賀川豊彦の思想にも光が当たった年でした。学生YMCAの夏季学校設立の原点に回帰できたことが

希望への架け橋

日本YMCA研究所 所長
光永 尚生

100周年の最も大きな出来事でした。建物、施設だけでなく近接する東山区・二岡区との協働の働きが2019年の全国椿サミット会場として予定されてもいます。単なる宿泊施設の整備だけでなくコミュニティサービスを行っていくアソシエーションとして東山荘がチャレンジとチェンジしていくことへの期待が高まっている第2世紀が始まっています。

2016年4月1日付で、熊本YMCAより日本YMCA同盟に赴任した光永尚生（みつなが ひさお）と申します。現在、御殿場市に在住しつつ、東山荘の業務の一部と日本YMCA研究所という「人材育成のための研修と研究機関」並びにワイズメンクラブの担当などをさせていただいています。

勤務に慣れてきつつあった4月14日夜に熊本地震が発生しました。私は、熊本県水俣市で生まれ、18歳までは八代市、19歳からは宇土市や玉名市、その後、熊本市内で生活し、29年間熊本YMCAにて勤務してきました。今も妻と義理の両親、親族は熊本市で生活していますが、この原稿を



みつなが・ひさお

東山荘副所長を兼務します。どうぞよろしくお願い致します！

書いている時点では、義理の両親の自宅にはガスが届かず、入浴も1週間できない状態でした。益城町の体育館、御船町のスポーツセンターは熊本YMCAが指定管理施設として運営を受託していますが、申請担当も行いました。

日本大震災に遭遇しました。その後2年あまり盛岡YMCA宮古ボランティアセンター、仙台YMCA、東京YMCA石巻センターなどでも活動支援を行いました。人生の中で、このようなことがあるときに、私たちはどうすればよいのでしょうか。私たちは、聖書から教えられたように「いつも喜び、絶えず祈り、どんなことにも感謝したい」と思います。祈ることは聴くこと。私たちは、被災された多くの方たちに加え、現地、後方のスタッフの声に耳を傾け、そっと寄り添っていきたいと考えています。そっと寄り添い続けることを、いつも祈りに加えたいものです。

実は、私は2009年より1回目の派遣でYMCA同盟におりましたが、2011年3月11日に東京で勤務中に東

東山荘での人材育成というYMCAの大切な働き、東山荘新本館の9月完成と第2期東山荘新本館への募金活動、そして、熊本地震と苦難は続きます。

しかし、「私たちは知っています、苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生む」ということを。私たちYMCAに連なる者たちにとつて、目指していくべきは、希望への架け橋となる働きではないでしょうか。